

旬じょうはん

情勢判断学会 東京本部
会員向けニューズレター
発行人 古川 彰久
事務局 〒252-0321 神奈川県
相模原市南区相模台1-23-9
Tel.&Fax.
042-748-8240
<http://www.jouhan.com>
E-mail: info@iki2life.com

4月例会ご案内

日時 : 4月9日 木曜日
18:30 ~ 21:00
場所 : 港区立商工会館
参加費 : 1000円
テーマ : 一連のコロナ騒動にみる情報の
「甲乙丙」について
演者 : 松本 友

2020年、世界中がパニック状態になっている
コロナウイルス騒動ですが、騒動に巻き込まれ
ていない人たちはごく普通の生活をしています。
TVや新聞で知る情報と実際目にしている状況
との違いは何なのか、そしてどう行動をすれば
よいのかを事実や報道、そして陰謀論まで混ぜ
て考え、情勢判断を皆さんと考えてみたいと思
います。

富士フィルムグループの富山化学が出している
抗インフルエンザウイルス「アビガン」はウイ
ルスの複製を防ぐ効果がある。
富山化学の販売提携先は深圳万楽薬業。中国で
は既に認証実験を1週間で認可を下ろしている。

新型コロナウイルスはコロナウイルスの1種で
COVID-19 (Coronavirus-Disease-2019)

つまり、2019年に確認されたコロナウイルス
による疾患という意味なのでコロナウイルスは
もともと存在しているウイルスである。これまで
人に感染するコロナウイルスは7種類見つか
っている。

そのうちの4種は一般的な風邪の症状を引き起
こすもので、ほとんどの場合は軽症に終わる。
2002年に発生したSARS(重症急性呼吸器症候
群)と2012年以降発生しているMERS(中東呼
吸器症候群)

そして今回7番目に発見されたのが、今回の
「新型」コロナウイルス。

つまり、今回のコロナウイルスは人類が遭遇し
たことがないような未知のウイルスではなく
想定されている範囲内のウイルスの種類とも考
えられる。

ただ、メディアが矛盾する情報を流すことによ
って人々の混乱を招いている。

専門家やコメンテーターと呼ばれる人が子供を
守らなければいけない!と発言したと思ったら
別の番組では子供には感染しにくく軽症のこ
とが多くそのまま治るらしいから学校閉鎖する必
要はないと言ってみたり。

高齢者にとっては危険だが、若者は感染はする
けれど発症しないうちに治ってしまうという。
検査もしていないのにどうやってわかるのだろ
うというような情報まで流れる。

もし、それが本当ならば通常の風邪と同じ様に
家で寝てれば治るのであればそもそも病院に行
く必要もなく、実際の感染者数は相当な数にな
り、致死率はものすごく低くなるはずである。
SARSやMARSなどは一時期パニックになったも
の、今は誰も騒がない。

さらに、症状が出ないのに感染するといいつつ、
熱が出ないとそもそもコロナ検査が受けられな
い。

→といったような様々な事実と情報が交差して
いる状況ではあるが

城野さんによると、ニュースは衝撃的なところ
を切り取っている端の情報である。

甲は当の本人がその目で見た確実な事実である。
乙は信頼できる人がその目で見たという話を聞
いたということである。

丙はこういう話があったということで世間の噂
である。

常に自分の足で歩いて目で見て甲の情報を集め、
誰もが知っている普遍的な事実とつぎ合わせ、
他の特殊性と結びつけ、全体的な情報をつかみ
判断し、実行していく。

これが全ての人間の人生であるとおっしゃって
いる。

真ん中の情報は普通のことなので、報道しても
誰も驚かない。なぜならそれが日常だからであ
るというような事を言われていますが、今回の
騒動の本当の意味・どう判断して行動すべきか
を改めて考えたいと思います。

2月例会報告

日時 : 2月13日 木曜日
18:30 ~ 21:00
場所 : 港区立商工会館
テーマ : 城野先生のDVD「東西古今人間学」の鑑賞会 第12回目
司会 : 榊原 高明

DVD「東西古今人間学」第3巻第6回後半要旨
＜中華人民共和国の誕生と毛沢東＞

- (1) 憲法：中国の経済は4つ
- ①社会主義経済：国民党から没収した工場等を国有化。
 - ②合作者経済：土地改革により、地主の土地を貧農へ、協同耕作、人民公社へ。
 - ③資本主義経済：資本家への便宜を図る。
 - ④个体経済：自作農。
- (2) 権力者としての毛沢東

実際に合ったことをやって成功した。権力の絶頂に居ると、反対する奴がいなくなり、廻りにおべっか使いに囲まれ、新しい知識が入らなくなる。更に自己顕示欲も強くなる。

劉少奇：一時は毛沢東を褒めたが、その後、対抗馬になると殺された。

毛沢東の写真、選集の配布：紙が足りなくなる。

毛沢東学習：国として推進するのは、行き渡っていない証拠といえる。

資本化の力が付いて来ると、インテリも力を持ってくる。相対的に共産党員の力が落ちてくる。無産階級を育てる必要があるが、下を育てないで対抗者を殺す。

反右派闘争：資本化征伐や知識分子狩り。
当初以下の4つの政党が認められた。

- ① 中国共産党
 - ② 中国国民党革命委員会
 - ③ 中国民主同盟(資本家、知識分子)
 - ④ 中国農工党(中産階級、知識分子)
- ②～④は中国共産党の支配を受ける。

中国民主同盟をやっつけるために百花斉放をやった。：自由に発言しても良いとのことで少しずつやりだし、しばらくすると次々と意見を出しだした。1年ぐらいたったらみんな捕まえてしまった。知識階級はものを言えなくなった。

文化大革命：毛沢東と違う考えを持った次の政権を担うものをやっつけた。

この20～30年間中国は発展しなかった。
＜毛沢東から教訓を学ぶ＞

文化的にも経済的にも、実際に即してやったことはうまくいったが、教科書通りやったこ

とはうまくいかなかった。求めているものをやればうまくいく。この間、中国は発展せずに、日本がなぜ発展したのか。日本には倒産という制度があるが、中国には無い。経済は人間の動きである。命を維持するための物質的基礎・手段を作っていくこと。それぞれの国は、昔からの歴史的な違いを持っている。
アメリカ：多民族国家

日本：単一民族、単一文字、統一体になりやすく階級が無い。

西欧(仏、独)：貴族がまだ残っており、階級的差別はまだ大きい。

日本では、明治に天皇親政となり、藩屏として華族を作ったが、ヨーロッパやインドのような階級支配は出来なかった。日本では教育制度も行き渡り、戦略統一が出来やすい。中国における戦後の日本人の引き揚げは、負けた国の人が整然と引き上げた。

民族的なやり方を把握していき、求めていくものに合致していくことが大切である。

＜人間学から学ぶこと＞

これまで、信長、秀吉、武田、上杉、ヨーロッパではナポレオン、中国の三国志等から、歴史上の著名な人たちの行動の中から、どのような教訓が引き出せるのかを見てきました。特に人間の扱い方が重要ですね。信長のやり方は、部下を大きくしていく、また、大きくなっていく過程で新しい人材を抜擢する。その下で秀吉、明智、柴田、丹羽、滝川、池田等の武将が大きくなった。秀吉は最初は部下はいないが、戦ごとに大きくなり、高松城攻撃に際しては毛利軍全軍を相手にするほど3万人位になっている。信長が秀吉の才能を発揮させたといえる。

今回が最終の鑑賞会ですので、先生の想いを感じつつマツメテみたいと思います。

1. 教訓

いろんな人物を取り上げ話してきた。特に人間の行動について、この中から、どんなふうにしたらうまく行き、一方うまく行かないのか。話した材料の中から自分で引き出し、ご自分の人生に役立てて欲しい。

2. 沖縄へのエール

本DVDは沖縄での講演会のもので、先生が一番言いたかったのはこれではないでしょうか。

沖縄の平均年収は全国平均を下回っている。しかし、先生はこれを逆転可能と仰っています。沖縄にはこれをやりとげるだけの条件がある。それには、沖縄の民族的性質、やり方を把握した上で、後は戦略的に行動するだけだ。まず、自分の回りに仲間を作りなさい。

みなが求めているものを示し、欲しいものを提供しなさい。人は自分の人生の目標と合致したものがあれば張り切って働く。

3. なんのために脳力開発を学ぶのか

なんのために脳を使うのか。→自分の戦略目標を達成するために、正しく手と足と口を使うためである。どんな英雄、偉人であろうと、出来ることは手と足と口を使うことだけだ。頭を使うとは正しくこれらを使うことを考えること。他に何も無い。で逆に言えば人間一人の力とは手・足2本ずつ、口が一つ。これだけなのである。

4. 拡大発展の方法

(1) 信長のケース

始めは3,000騎程度の軍隊であったが人材を見出して、これを抜擢して力を発揮させ、部下を大きくすることで自分も短期間で勢力を拡大。当時15~16万人の軍を動かしたのは信長だけ。秀吉もこれに習ってゼロ人から、毛利攻めの時は3万の軍隊を有していた。彼らが見出した中に柴田、明智、加藤、福島など多数の武将がいる。

これに対して、上杉や武田の家臣たちの軍勢はそれほど増加していない。

(2) 戦略目標の確立と統一

これをもっていけば、実際面の戦術レベルは社員(成員)各自に考えさせやらせばよい。そうすると日本人は実によく働き成果を上げる。日本人とはそういう性質を持っている。脳力開発の普及活動をやってきて、こういうやり方をやってみるとうまく行く結果が多く、この日本人の性質は敗戦で中国から引き揚げの時、混乱なく整然と行った歴史的事例でも見ることができる。

ですから事業をやるときも日本人の民族性、人間的特性を頭において組織を組み運営していかないとけない。

戦略目標が一致していれば、仲間(同志)になれる。これは永続性がある、一方利害だけが一致した仲とのつながりは壊れやすい。どんな人でも仲間に来るかがその人の力量。秀吉は人間心理に通じ、褒美を3倍出すなどの手管を利用したりして、仲間作りに長けていた。大きな仕事をするには経済的基盤も重要。

信長はこれを確立する目的で、ヤクザの親分のような人間が支配していた座を廃止して、自由に商人が商売できる条件を整え、経済を発展させ、ここから税を徴収することで経済力を蓄え勢力を拡大。秀吉もこれに習って強力な経済基盤を確立していった。

(3) 10人分の仕事をするには

人間一人の力とは、手、足、口を動かすだ

けで、それを10倍にはできない。ではどうするか。そのためには10人の仲間を作ればよい。自分を手助けしてくれる人を自分の回りに集めること。秀吉の成功も多くの協力者を自分の回りに作り、全国統一という一つの目標に向かってみんなが力を発揮した結果である。

拡大発展のために最も重要なのは戦略が一致した仲間をたくさん作ること。ここにその人間の力量が示される。

5. “条件”に留意せよ

先生は常々物事は歴史的に見よと言われておられます。

(1) ナポレオンと毛沢東

ナポレオンはフランス革命後の状況(条件)という背景があったからあれだけのことが出来た。毛沢東も地主や国民党の圧政に苦しんでいた民衆の不満が、存在していたという条件の下での革命成功があった。

(2) 教科書通りやると失敗する

毛沢東も革命後2~3年間位は資本家も取り込んで、実際に合った、現実に行っていた国家運営をしていた間はずうまく行って発展していた。ところが、共産主義の教科書通りやろうとして資本家やインテリ層を排除し始めてからうまく行かず、鄧小平が登場するまで30年近く中国の経済は発展しなかった。

(3) 欧米の経営手法導入の失敗

米国流は戦時中の軍隊統率のやり方から来ている。移民の国であり、出身地、言語、考え方、習慣などみな異なっている。これを統率するために、職務分担を細かく決め、それぞれがそれを実行することで目標を達成するやり方。一方日本は単一民族、単一言語、階級差別がない。つまり根本の条件が違う。これを無視して導入しても、さっぱりうまく行かない、ということになる。

6. 絶対的権力者は失敗しやすい

ナポレオン、毛沢東、スターリンなど権力者の回りにはおべっかを使う者ばかりが集まってくる。また、正確で、新しい情報が入らなくなり、独善に陥って最後に失敗する。

7. 人間学の根本

人間と人間の関係をどう作って行くか。自分の回りに出来るだけたくさんの仲間を作って発展して行くこと。

・今回ご出席の方より、現代の歴史解釈と相違する部分があるのではないかとのご意見がございました。

・榊原の感想

今、城野さんが生きていてくれたらな一

